

	努力目標	努力事項	評価 4		反省（評価にいたった理由）
			1 学期	2 学期	
すすんで学習する子どもの育成	学力の向上を図る	◎言語活動の充実（書く・伝え合う力）	2.7	△3.1	<p>□自分の考えを持たないために伝えられない児童が多く、まず考えを持たせる手立て、伝える手立てを段階を踏んで、また、支援員さんの力を借りて指導していきたい。</p> <p>□授業の中では形態を変えながら必要に応じて伝え合う場を設け、朝や帰りの会でもスピーチ等行い機会を増やしてきた。書く力については個人差が大きく個に応じた指導を行っていきたい。</p> <p>▼相手意識をもった言語活動(伝え合う力)を意識した授業づくりが十分できなかった。</p> <p>□はっきり話す力(口の形、発音、声の大きさ)を高めたい。何を言っているのか分からないこともあり、指導してきた。</p> <p>○各教科および日常の場でも「伝え合う」ことを意識して場を設定してきた。ほとんどの児童が自分の思いを言語化して伝えることができたが、主体的によりよくという点では、まだ支援が必要である。</p> <p>○ペア学習を取り入れながら聞く、伝える力が身についてきた。作文指導を通して角形が身についてきた。</p> <p>□書く活動を励行。総合的な学習を中心に伝える必要性のある課題を設定し、努力させた。</p> <p>○各教科において、自分の考えを書く時間、伝え合う時間を確保するよう努めた。</p>
		・基礎・基本の確実な定着	2.8	2.9	<p>□基礎基本の確実な定着は個人差がある。下位児童への個別指導を続けていく。</p> <p>○学習の定着に差が開き、個別面談で親と話し合い、今後の方向性を確認し共有できたことはよい。</p>
		・補充・発展の場と時間の確保	1.9	△2.6	<p>▼発展の場をなかなか取り入れられなかった。</p> <p>○修学旅行でのパンフレット配布活動では、県外（外国）の人とコミュニケーションをとることができた。</p>
	学びの基盤づくりを強化する	◎学習規律の維持、徹底「授業の5つの約束」	3.0	3.2	<p>○できるだけ声をかけ、学習習慣が身についた子が増えた。</p> <p>▼姿勢が悪い児童が2～3人見られる。</p> <p>○「授業の5つの約束」は定着しつつある。今後は全員の徹底を目指し、指導していく。</p> <p>○学習規律は望ましい姿を考え、自己を振り返りながら、徹底を目指してきた。学期後半にかけてよくなってきた。</p> <p>○目標とする姿の共通理解を図り、繰り返し指導することで身についてきた。</p>
		・「家庭学習スタンダード」を活用して家庭学習の充実	2.4	2.7	<p>▼家庭学習の習慣が身についていない児童の指導が必要。</p>

	読書活動を推進する	◎読書ボランティアと連携し、図書室の積極的利用	2.8	2.9	<p>○図書ボランティアの来校を毎回楽しみにし、真剣に読み聞かせをしている。一人一人感じたことを伝える場を設けたい。</p> <p>○ボランティアの方が学年にあった本の読み聞かせを行ってくれた。子どもは進んで読書していた。</p> <p>○朝の図書室の開館がとても良い。</p> <p>▼「読書の時間」は読むが、借りた本を持ち帰る子が少ない。土日は好きな本を読むように伝えてきたが、○本を進んで読む子が増えた。図書室が利用しやすい。一部の子しか家庭での読書ができていない。</p> <p>▼積極的に図書室を利用する児童が少なかった。呼びかけていきたい。</p> <p>▼読み聞かせをしていただくという受動的な立場に終始してしまっていた。授業内外で積極的に活用したい。</p> <p>□外で遊びたい。宿題はある。帰宅は遅い等から家庭での読書にも時間の制約があり、だんだん難しい。朝読や校内での読書はがんばっている。</p> <p>▼委員会や係活動等の活動を優先してしまい読書の推進が足りなかった。</p> <p>○国語の授業でも司書の福地先生に選んでいただいた本を活用した。</p> <p>□読書貯金通帳への記録、図書係の活動(クイズ、選書コーナー)ジャンルを決めて本を選ばせる、本紹介を作文の宿題にするなど取り組んできた。しかし”自主的に”はまだ難しい。</p> <p>▼良書を読ませたいが自分で買った本を読んでいる。</p> <p>○土、日は読書の日として音読カードに記載するようにしている。</p>
		・全校一斉朝の読書(水、金)の実施・読書習慣の形成(読書賞、読書月間、読書郵便)	3.3	3.3	
心豊かな子どもの育成	教育環境・体験活動を充実させる	◎規範意識の育成(あいさつ・よい子のやくそく)	2.8	3.0	<p>□一部規範意識のうすい児童への対応を考えていきたい。</p> <p>○相手意識を持てるようになってきたので、友だちとの絆が深まってきた。</p> <p>□問題行動について、みんなで話し合ったり、どのように行動すると、よりよくなるのかを指導したりして「分かり合う」関係づくりを努めた。</p> <p>○あいさつの徹底、よい子の約束を朝の会や帰りの会で確認してきた。どうして守らないといけないのかクラスで考えてきた。</p> <p>○子どもの気持ちを考えた言葉づかいで話すように努めた。言い方がよくない時には、どういった方がよいか具体的に指導した。</p> <p>○言語環境を整え、穏やかに生活できるよう機会を捉え指導した。</p> <p>▼友だち同士での言葉づかいは、まだ改善の必要がある。</p> <p>○高学年が休み時間に遊んでくれたり、朝の準備を見に来てくれたり、めんどろを見てくれるのがありがたい。</p> <p>○高学年の児童と曜日ごとに休み時間交流し、毎回楽しく活動している。新しい遊びや遊びのルールなど学べ、大変感謝している。</p> <p>○1年生と遊んだり、4年生の国語科のパンフレットづくりのアドバイスをしたりすることができた。</p> <p>○二小遊びたいは大がかりだが、6年生にとってはとてもよい経験。やりがいと達成感があった。</p>
		・ことばを大切にした指導	2.7	△3.1	
		・異学年交流の促進	3.3	3.4	

	道徳教育を充実させる	◎お互いが尊重し合える集団づくりをし、いじめの未然防止	3.0	3.2	<p>□いじめの未然防止が図れなかった。加害児童と被害児童は現在仲良く生活しているが注意深く見ていく。また、定期的に人間関係を調査し、学級の人間関係について把握していく。</p> <p>□お互いを尊重し合うための目的意識・現状の把握などを自分たち(児童)でできるようにしていきたい。</p> <p>▼相手の心情を思いやるという点でもっと高めていく必要があった。</p> <p>○学級で起きた問題や友だちとの関わりでのよい姿をクラス全体で確認して話し合ったり称賛したりしてきた。</p> <p>○2組の授業研究を基に、工夫したワークシートで、自分の生活を振り返りながら学習できた。</p> <p>○現職での参観、初任研での授業提供等を通して研修を深められたのはよかった。</p> <p>○道徳教育での話し合い活動の充実が、学級活動ともうまくつながった。</p>
		・「特別の教科道徳」を核とした教育活動全体での道徳教育の推進	2.8	3.1	<p>○2組の授業研究を基に、工夫したワークシートで、自分の生活を振り返りながら学習できた。</p> <p>○現職での参観、初任研での授業提供等を通して研修を深められたのはよかった。</p> <p>○道徳教育での話し合い活動の充実が、学級活動ともうまくつながった。</p>
やる気をもってがんばる子どもの育成	自主性・責任感の育成を図る	◎児童が主役となる学級活動の充実	2.9	▽2.7	<p>○学級活動に関して、進んで活動する姿が見られた。</p> <p>□学級会・計画委員会などを活用して児童に自己存在感を与えたい。</p> <p>▼教師としては、一人一人の児童を大切に、「主役」としているのだが、子ども達の意識とのずれが見られた(アンケートの結果より)</p> <p>▼決まり切った話し合い活動になってしまった。創造的な学活になるように改善が必要である。</p> <p>▼児童会、係活動どちらに置いても取り組み方に個人差があり、「全員が」というところまで高められなかった。</p> <p>○係の仕事を理解してきて、自分の仕事以外でも助け合って活動できるようになってきた。</p> <p>○朝の掃除、朝の委員会活動など、それぞれ考えて学校のために働いている。</p> <p>○朝の掃除・・・習慣化してきた。</p> <p>▼低学年のボランティア活動が分からない。</p> <p>□学級内でのボランティア活動は見られるが対外的にはゴミ拾いのみであった。意識を高めていきたい。</p> <p>○清掃が上手になった。トイレ、手洗い場の清掃も2年生だけでやってもよくできた。</p>
		・児童会、係活動の充実	3.0	3.2	<p>○朝の掃除・・・習慣化してきた。</p> <p>▼低学年のボランティア活動が分からない。</p> <p>□学級内でのボランティア活動は見られるが対外的にはゴミ拾いのみであった。意識を高めていきたい。</p> <p>○清掃が上手になった。トイレ、手洗い場の清掃も2年生だけでやってもよくできた。</p>
		・奉仕・ボランティア活動の充実	2.2	△2.7	<p>○朝の掃除・・・習慣化してきた。</p> <p>▼低学年のボランティア活動が分からない。</p> <p>□学級内でのボランティア活動は見られるが対外的にはゴミ拾いのみであった。意識を高めていきたい。</p> <p>○清掃が上手になった。トイレ、手洗い場の清掃も2年生だけでやってもよくできた。</p>
体をきたえる子どもの育成	体力の向上を図る	◎運動身体づくりプログラムの活用と体育の学習の充実	3.2	3.5	<p>○プログラム毎時間実施。運動量の確保に努めた。</p> <p>○学年体育を実施し、学習の充実を図れた。</p> <p>○ランランタイムに意欲的に取り組む児童が多く、らんらんタイムではない休み時間も校庭を走っている児童も見られた。全体的に回を重ねるごとにタイムが縮み、体力の向上が図られたと感じた。</p> <p>○毎時間プログラムを実践し、アレンジもしながら行うことができた。</p> <p>○学習カード、記録測定、その掲示等により毎時間の体育の授業の充実と個人のめあて達成や意欲向上など、よい点があった。</p> <p>□プログラムを活用してきた。体力テストで落ち込んでいるボール投げ、握力、柔軟性を高める運動を取り入れていかなければならない。</p>

健康教育を一層充実させる	◎外部講師を活用し、むし歯、感染症、生活習慣病などに対応する予防指導の充実	3.4	▽3.3	<p>○講師の話を実践し、万歩計をつけて登校するなど1日1万歩を目指して取り組む子どもが増えた。</p> <p>○歯科指導ができた。また、身体測定のたび板橋先生から食事、排便、感染症の指導をしていただいた。</p> <p>○ゲームとのつきあい方に困っていると相談すると、ゲーム障害についての講演会をセッティングしてくださるなど、状況に応じてすぐに対応してくださるのでありがたい。</p> <p>▼養護教諭とも連携し、保護者と連絡を取り合ってきた。しかし、こちらがいくら声をかけても…という限界もあった。</p> <p>○学年だよりで呼びかけをした。</p> <p>▼家庭に連絡はしている物の、う歯の治療立が悪い。</p>
	・家庭と連携した疾病等への適切な対応	2.9	2.9	
成する基本的な生活習慣を育成	・家庭との連携を図った食育指導の推進	2.7	▽2.6	<p>□子ども達には指導したが、保護者との連携をもう少し図りたかった。</p> <p>▼家庭との連携をうまくすることができていなかった。</p> <p>▼食事について、問題を持つ児童が数名いて、食育指導が難しかった。(精神的に追い詰められてしまうため)</p> <p>□給食を食べられない児童、時間がかかる児童、マナーがよくない児童は家庭との連携が必要。</p>
	・「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励	3.0	3.1	